

生命・医療倫理学

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎, 邵 仁浩, 辻澤 利行						

授業の概要

研究を遂行するにあたって必要となるヒトおよび実験動物等に対する倫理の実際と理論について講義する。保健医療福祉に関する倫理にかかる諸概念を講義する。また、歯科衛生士の職業倫理について講義する。

学生の到達目標

1. 生命科学研究における倫理について説明できる。
2. 臨床研究における倫理について説明できる。
3. 医療人として涵養すべき倫理について説明できる。
4. 歯科衛生士の倫理問題について説明できる。
5. 法令で規定する臨床試験の実施基準を理解する。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	60%
演習課題	40%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	医療人が涵養すべき医の倫理に関する基本的知識と態度 医療人が涵養すべき医の倫理に関する基本的知識と態度について、国の指針等を踏まえながら学習する。 関する基本的知識と態度	講義 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：医療倫理に関する国の指針 事後：事後レポートの提出	
2	人間を対象とした研究で、疫学研究および臨床研究（臨床試験を含む）に係る法令・指針 医療法や医薬品医療機器等法に加え、人間を対象とした疫学研究および臨床研究については、国から各種指針が示されており、それらを踏まえ学習する。	講義 (Teams, Moodle)	邵 仁浩	事前：疫学研究および臨床研究の国の指針 事後：事後レポートの提出	

生命・医療倫理学

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎, 邵 仁浩, 辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	動物を用いた実験研究を遂行するにあたり関連する法律・指針 動物を用いた実験研究を遂行するにあたり、動物愛護に関連する法律・指針等とこれらの精神に基づく3Rの考え方について学修する。 さらに、動物実験における感染症対策や国外における近年の傾向についても学ぶ。	講義 (Teams, Moodle)	辻澤 利行	事前：動物実験研究の国の指針 事後：事後レポートの提出	
4	遺伝子実験を遂行するにあたり関連する法律・指針 遺伝子実験にかかる法令・指針について学修する。	講義 (Teams, Moodle)	辻澤 利行	事前：遺伝子実験研究の国の指針 事後：事後レポートの提出	
5	歯科衛生士が臨床や保健活動で会得しておくべき倫理観について、その理論と実際 歯科衛生士が歯科医療の臨床および歯科保健活動で会得しておくべき倫理観について、その理論と実際について講義する。また歯科衛生士の倫理規範、守秘義務、法的義務についても学習する。	講義 (Teams, Moodle)		事前：歯科衛生士の倫理綱領 事後：事後レポートの提出	
6	保健・福祉に係る倫理についての理論と社会的通念の比較を通して、歯科衛生士としてのあるべき姿 保健・福祉に係る倫理についての理論に基づき、医療人として求められる歯科衛生士としてのあるべき姿を学習する。	遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：医療倫理の4分割、ケアの倫理 事後：事後レポートの提出	
7	倫理申請の実際1（申請書の作成） ヒトおよび動物を用いた研究を行うのに必要な倫理申請の実際について、九州歯科大学倫理審査の様式を用いて作成する。	演習 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：九州歯科大学の倫理審査申請の様式 事後：倫理審査申請書の作成	

2025年度

科目コード： 221001

生命・医療倫理学

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎, 邵 仁浩, 辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	倫理申請の実際 2（倫理的研究方法） ヒトおよび動物を用いた研究を行うのに必要な倫理的方法について 実例を示しながら理解する。	演習 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前、事後：倫理審査申請書の提出	

口腔保健科学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業の概要

口腔保健学に関する最新の知見についてオムニバス形式で講義する。

学生の到達目標

- 1．歯科診療における感染予防対策の実際や最近の知見について説明できる。
- 2．診療情報の管理や提供、医療広告に関する国の指針等について説明できる。
- 3．口腔健康学に関わる理論とアプローチについて説明できる。
- 4．免疫学的観点を踏まえた歯科的疾患と全身的健康状態の関わりについて説明できる。
- 5．ICFからみた健康の総体についての観念について説明できる。
- 6．歯周疾患と全身疾患との関連性及び全身疾患を有する患者の歯周治療について説明できる。
- 7．高齢者における口腔保健の最近の知見について説明できる。
- 8．人生の最終段階における口腔保健の最近の知見について説明できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
医療六法		中央法規出版
ザ・ペリオドントロジー	和泉雄一 他	永末書店
歯周病の臨床	長谷川紘司 他	医歯薬出版
高齢者への戦略的歯科治療	北村知昭 他編	医歯薬出版
口腔の緩和医療・緩和ケア	太田洋二郎 他編	永末書店
歯科のための内科学	西田次郎 他	南江堂

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	90%
口頭試問	10%

その他

学生相談：随時

口腔保健科学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	診療情報の管理や提供 患者情報や医療機関情報の種類、 医療機能情報提供制度、医療に関 する広告、診療情報の提供に関す る指針等について学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：医療法 事後：事後レポート の提出	
2	診療情報の管理や提供 各種診療記録（診療録、診断書、 処方せん、歯科衛生士業務記録等 ）の法令上の位置づけ及び記載の あり方、医療情報システムの安全 管理等について学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：医療法 事後：事後レポート の提出	
3	高齢者医学その1 老化、高齢者の病気の特徴につ いて学習する。	講義 (Teams, Moodle)	藤井 航	事前：高齢者の病気 の特徴 事後：事後レポート の提出	
4	高齢者医学その2 高齢者の薬物療法、超高齢社会に おける医学的・社会的問題につ いて学習する。	講義 (Teams, Moodle)	藤井 航	事前：高齢者の医学 的・社会的問題 事後：事後レポート の提出	
5	歯科診療における感染予防対策の 実際や最近の知見 一般歯科診療における感染の危険 性とその対策を学習する。	講義 (Teams, Moodle)	邵 仁浩	事前：歯科診療にお ける感染予防対策 事後：事後レポート の提出	
6	歯科診療における感染予防対策の 実際や最近の知見 特にHIVとHBV及びHCVに対する感 染とその対策を学習する。	講義 (Teams, Moodle)	邵 仁浩	事前：歯科診療にお ける感染予防対策 事後：事後レポート の提出	
7	高齢者における口腔保健 高齢者における口腔保健の実際と 最近の知見について学習する	講義 (Teams, Moodle)	藤井 航	事前：高齢者におけ る口腔保健 事後：事後レポート の提出	

口腔保健科学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	人生の最終段階における口腔保健 人生の最終段階における口腔保健 の実際と最近の知見について学習 する。	講義 (Teams, Moodle)	藤井 航	事前：終末期の口腔 保健 事後：事後レポート の提出	
9	口腔健康学に関わる理論とアプロ ーチ 健康信念モデル、変化のステージ モデルなどの理論を用いて、口腔 保健教育の実際について学習する 。	講義 (Teams, Moodle)	中道 敦子	事前：健康信念モデ ル、変化のステージ モデル 事後：事後レポート の提出	
10	口腔健康学に関わる理論とアプロ ーチ 2 口腔保健分野における各理論の 実際の活用について学習する。	講義 (Teams, Moodle)	中道 敦子	事前：健康信念モデ ル、変化のステージ モデル 事後：事後レポート の提出	
11	免疫学的観点を踏まえた歯科的疾 患と全身的健康状態の関わり 歯科的疾患と全身的健康状態の関 わりについて、自然免疫の観点か ら学ぶ。	講義 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：自然免疫 事後：事後レポート の提出	
12	ソーシャルキャピタルと口腔保健 地域におけるソーシャルキャピタ ルが口腔保健に及ぼす影響につ いて学習する。また、健康格差の 問題についても触れる。	講義 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：ソーシャルキ ャピタル 事後：事後レポート の提出	
13	ICFからみた健康の総体 ICFからみた健康の総体について の観念を学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：ICF 事後：事後レポート の提出	
14	歯周疾患と全身疾患との関連性及 び全身疾患を有する患者の歯周治 療について (1) 歯周疾患と全身疾患との関連性 について学習する。	講義 (Teams, Moodle)	邵 仁浩	事前：歯周疾患と全 身疾患との関連 事後：事後レポート の提出	

2025年度

科目コード： 221002

口腔保健科学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	歯周疾患と全身疾患との関連性及び全身疾患を有する患者の歯周治療について（2） 歯周疾患関連の全身疾患での歯周治療法を学ぶ。	講義 (Teams, Moodle)	邵 仁浩	事前：歯周疾患と全身疾患との関連 事後：事後レポートの提出	

生命科学論文作成概論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

授業の概要

学術論文における表題、著者欄、抄録、序論、対象と材料と方法、結果と観察、考察、謝辞、引用文献の書き方および図表の作成方法について理解する。あわせて文献探索や原稿校正の方法、著者として必要な倫理について学ぶ。

学生の到達目標

1. 著者としての倫理的判断ができる。
2. 論文の種類と構成を説明できる。
3. 論文として相応しい文体の使用、図表の作成、文献の引用ができる。
4. 論文に用いられる略語、記号、用語が説明できる。
5. 編集者や校閲者の指摘を理解し校正することができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
講義ごとに資料を配布する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	著者としての倫理 研究者が社会において守るべき（とくに論文として発表する際の）倫理について学ぶ。	講義	辻澤 利行	【事前学修】 Authorship 【事後学修】事後レポートの提出	

2025年度

科目コード： 221003

生命科学論文作成概論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	論文の種類 研究論文、総説論文、症例報告、あるいは口頭発表やポスターを基盤にする抄録などについて学ぶ。	講義	辻澤 利行	【事前学習】原著 【事後学修】事後レポートの提出	
3	論文の構成 表題、著者、抄録、序論、材料と方法、結果、考察、謝辞および引用文献などの構成について学ぶ。	講義	辻澤 利行	Structure of articles Learn about title, authorship, abstract, introduction, methods and material, results, discussion, acknowledgement, and references.	
4	論文の文体 学術論文における文体や構造について学ぶ。	講義	辻澤 利行	【事前学習】英文リテラシー 【事後学修】事後レポートの提出	
5	図表の作成 図や表の構成、文字と説明書き、縮尺、単位などについて学ぶ。	講義	辻澤 利行	【事前学習】図と表の使い方 【事後学修】事後レポートの提出	
6	参考文献の引用 本文で引用すべき参考文献の選択、および文献リストの作成などを学ぶ。	講義	辻澤 利行	【事前学習】投稿規定 【事後学修】事後レポートの提出	
7	論文に用いる略語、記号、用語 学術論文に用いられる略語、記号、および専門用語について学ぶ。	講義	辻澤 利行	【事後学修】事後レポートの提出	
8	論文の校閲と校正 自他者の論文を校閲および校正するために必要な知識と手技を学ぶ	講義	辻澤 利行	【事後学修】事後レポートの提出	

口腔保健福祉学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業の概要

地域におけるヘルスプロモーション（HP）や福祉の推進（WP）にかかる活動や、歯科における医療・保健・福祉連携の実際に係る理論と方法の詳細について講義を行う。

学生の到達目標

- 1．地域の保健・福祉の実際を説明できる。
- 2．歯科における医療・保健・福祉の連携の実際を説明できる。
- 3．歯科における医療・保健・福祉の連携を推進するための方法論を習得する。
- 4．地域で口腔HP、WPを実践するための知識を習得する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
地方分権時代の健康政策実践書—みんなで楽しくできるヘルスプロモーション	石井 敏弘、 中村 譲治、 その他	ライフサイエンスセンター

参考書

タイトル	著者	出版社
国民衛生の動向	厚生労働統計協会	
不平等が健康を損なう	イチロー カワチ, ブルース・P. ケネディ	日本評論社
ソーシャル・キャピタルと健康	イチロー カワチ	日本評論社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	80%
プレゼンテーション	20%

その他

学生相談：随時

口腔保健福祉学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	ヘルスプロモーションの理論 PRECEDE-PROCEED modelなどHPで 用いられる一般的な手法および近 年用いられている新しい手法につ いて学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前： PRECEDE-PROCEED model 事後：事後レポート の提出	
2	口腔を通じた福祉のあり方につ いて 介護制度を含む高齢者福祉や障害 者福祉における歯科の役割とある べき姿について学習する。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：高齢者福祉、 障害者福祉 事後：事後レポート の提出	
3	オーラルヘルスプロモーションの 実際理論 口腔保健におけるHPの理論につ いて学ぶ。	講義遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：オーラルヘル スプロモーション 事後：事後レポート の提出	
4	オーラルヘルスプロモーションの 実際（１）～事例の収集～ 口腔保健におけるHPの実際につ いて、市町村事業の実例を示しな がら方法論を学ぶ。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：事例の収集 事後レポートの提出	
5	オーラルヘルスプロモーションの 実際（２）～事例の収集～ 前回 に引き続き、口腔保健におけるHP の実際について、市町村事業の実 例を示しながら方法論を学ぶ。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：事例の収集 事後レポートの提出	
6	地域における口腔HP、WP事例の収 集と課題の抽出（１）～事例の収 集～ 地域歯科保健等に関する報告書な どから地域における口腔HP、WPの 実例を選出する。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：事例の収集 事後レポートの提出	
7	地域における口腔HP、WP事例の収 集と課題の抽出（２）～事例から 学ぶ課題と解決方法～ 前回選出した実例について地域の 課題とその解決方法について考察 する。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：事例の収集 事後レポートの提出	

口腔保健福祉学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	地域における口腔HP、WP事例の収集と課題の抽出（３）～事例から学ぶ課題と解決方法～文献検索を行い、国内外の事例を検討する。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：事例の収集 事後レポートの提出	
9	地域における口腔HP、WP事例の収集と課題の抽出（４）～事例から学ぶ課題と解決方法～前回に引き続き文献検索を行い、国内外の事例の実際を検討する。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：事例の収集 事後レポートの提出	
10	地域における口腔HP、WP事例の課題の解決方法（１）～課題の抽出～福岡県内市町村の中からモデル地区を選出してその課題を抽出する。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：事例の収集 事後レポートの提出	
11	地域における口腔HP、WP事例の課題の解決方法（２）～課題の解決方法の企画立案～前回抽出したモデル地区の課題の解決方略を企画立案する。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：事例の収集 事後レポートの提出	
12	地域における口腔HP、WP事例の課題の解決方法（３）～課題の解決方法の企画立案～前回抽出したモデル地区の課題の解決方略を企画立案する。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：事例の収集 事後レポートの提出	
13	地域における口腔HP、WP事例の課題の解決方法（４）～課題の解決方法の企画立案～前回抽出したモデル地区の課題の解決方略を企画立案する。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：事例の収集 事後レポートの提出	

2025年度

科目コード： 222003

口腔保健福祉学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	地域のHP、WPに対する働きかけ 地域住民に働きかけを行うために 必要な方法論について事例を交え ながら学習する。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：地域のHP、WP 事後：事後レポート の提出	
15	まとめ これまで行ってきた内容をまとめ 、プレゼンテーションを行う。	演習遠隔授業 (Teams, Moodle)	秋房 住郎	事前：プレゼンテー ションの準備 事後：プレゼンテー ションの提出	

細胞分子生物学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	佐藤 毅						

授業の概要

分子生物学、細胞実験および動物実験の基礎を学ぶ。

学生の到達目標

分子生物学、細胞実験および動物実験について理解する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
分子生物学講義中継Part1	井出利憲	羊土社
分子生物学講義中継Part2	井出利憲	羊土社
分子生物学講義中継Part3	井出利憲	羊土社
マウスラボマニュアル 第2版	東京都臨床医学総合研究所 実験動物研究部門	丸善出版
培養細胞実験ハンドブック	黒木登志夫、許南浩	羊土社
タンパク質実験ハンドブック	竹縄 忠臣	羊土社
新遺伝子工学ハンドブック	村松 正實	羊土社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ループリックにより評価する	0%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	複製、転写、翻訳のメカニズムについて学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
2	表現型からの遺伝子解析について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
3	遺伝子から個体の表現型を解析することについて学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室

2025年度

科目コード： 222005

細胞分子生物学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	佐藤 毅						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	シグナル因子・細胞内シグナル伝達について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
5	細胞接着・細胞骨格について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
6	細胞周期・チェックポイントについて学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
7	発生・分化・形態形成について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
8	エピジェネティクス、幹細胞について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
10	癌細胞・癌遺伝子について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
11	老化のメカニズムについて学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
12	培養細胞実験の基礎知識について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
13	タンパク質実験の基礎知識について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
14	RNAi実験の基礎知識について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
15	マウス実験の基礎知識について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室

栄養科学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

授業の概要

管理栄養士など他職種と連携しながら幅広い視野を持った歯科保健活動を行うために必要な栄養学の知識を学ぶ。

学生の到達目標

1. う蝕の栄養学について理解する。
2. 歯周病の栄養学について理解する。
3. 低栄養について理解する。
4. 栄養調査・栄養アセスメントについて理解する。
5. 飢餓と侵襲時の代謝について理解する。
6. 生活習慣病の栄養学について理解する。
7. 食事摂取基準による栄養管理の考え方を理解する。
8. 静脈経腸栄養ガイドラインによる栄養管理の考え方を理解する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
教員から供与したものおよび各自検索したものを利用する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	健康な人の栄養管理について学ぶ 1 食事摂取基準について学ぶ	講義・演習	辻澤 利行	食事摂取基準2020年版（総論、各論：エネルギー 1）	

栄養科学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	健康な人の栄養管理について学ぶ 2 食事摂取基準について学ぶ	講義・演習	辻澤 利行	食事摂取基準2020年版（各論：エネルギー2、たんぱく質） 事後レポートの提出	
3	健康な人の栄養管理について学ぶ 3 食事摂取基準について学ぶ	講義・演習	辻澤 利行	食事摂取基準2020年版（各論：各論：脂質、炭水化物） 事後レポートの提出	
4	健康な人の栄養管理について学ぶ 4 食事摂取基準について学ぶ	講義・演習	辻澤 利行	食事摂取基準2020年版（各論：ビタミン、ミネラル）	
5	健康な人の栄養管理について学ぶ 5 食事摂取基準について学ぶ	講義・演習	辻澤 利行	食事摂取基準2020年版（各論：対象特性） 事後レポートの提出	
6	健康な人の栄養管理について学ぶ 6 食事摂取基準について学ぶ	講義・演習	辻澤 利行	食事摂取基準2020年版（各論：生活習慣病とエネルギー・栄養素との関連） 事後レポートの提出	
7	傷病者等の栄養管理について学ぶ 1 飢餓と侵襲の代謝について学ぶ。	講義・演習	辻澤 利行	飢餓、侵襲	
8	傷病者等の栄養管理について学ぶ 2 静脈経腸栄養ガイドラインの考え方を学ぶ。	講義・演習	辻澤 利行	静脈経腸栄養ガイドライン 事後レポートの提出	
9	特別な食事療法が必要な人への栄養管理について糖尿病、高血圧、脂質異常症、慢性腎臓病の患者の栄養管理考え方について学ぶ。	講義・演習	辻澤 利行	糖尿病、高血圧、脂質異常症、慢性腎臓病 事後レポートの提出	

2025年度

科目コード： 222007

栄養科学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	う蝕の細菌学・栄養学 1 歯科の二大疾患であるう蝕の細菌学について栄養学的な視点から学習する。	講義・演習	辻澤 利行	う蝕、う蝕原性細菌、う蝕の予防法	
11	う蝕の細菌学・栄養学 2 歯科の二大疾患であるう蝕の細菌学について栄養学的な視点から学習する。	講義・演習	辻澤 利行	う蝕、う蝕原性細菌、う蝕の予防法 事後レポートの提出	
12	歯周病の細菌学・栄養学 1 歯科の二大疾患である歯周病の細菌学について栄養学的な視点から学習する。	講義・演習	辻澤 利行	歯周病、歯周病原性細菌、歯の喪失と栄養	
13	歯周病の細菌学・栄養学 2 歯科の二大疾患である歯周病の細菌学について栄養学的な視点から学習する。	講義・演習	辻澤 利行	歯周病、歯周病原性細菌、歯の喪失と栄養 事後レポートの提出	
14	歯科臨床栄養学 歯科臨床栄養学について考える。	講義・演習	辻澤 利行	after-action report periodontal disease, periodontopathic bacteria, tooth loss and nutrition	
15	地域貢献活動 他職種が行う地域貢献活動を学ぶ	講義・演習	辻澤 利行	減塩の日、栄養の日、食育白書 事後レポートの提出	

医療政策学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

授業の概要

医療政策学特論では、我が国の医療供給体制、医療計画、各種保健事業、医療保険制度、診療報酬制度等について学習するとともに、それぞれの関係法令等の歴史的経緯及び施策の要点について学習する。また、健康社会学の歴史と概念、具体的なアプローチ方法と研究方法、対象と領域、ヘルスプロモーション等について学習する。

学生の到達目標

1．保健医療政策および社会保険政策の概要を説明できる。2．医療法と関連する政策を理解できる。3．医療従事者に関連する政策を理解できる。4．保健衛生関係法規と関連する政策を理解できる。5．健康保険法と関連する政策を理解できる。6．健康社会学の概念を説明できる。7．健康社会学のアプローチを詳細に説明できる。8．健康社会学の研究方法を詳細に説明できる。9．健康・医療の社会学の系譜を詳細に説明できる。10．健康社会学の対象と領域を詳細に説明できる。11．ヘルスプロモーションを詳細に説明できる。12．社会健康学における歯科医療者の役割を理解できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を提示する		

参考書

タイトル	著者	出版社
国民衛生の動向	厚生労働統計協会 編	厚生労働統計協会
保険と年金の動向	厚生労働統計協会 編	厚生労働統計協会
公衆衛生がみえる	医療情報科学研究所 編	メディクメディア
健康と病気の社会学第9版,2013	コンラッド ほか	ワーク出版
保健社会学 - 生活・労働・環境問題,1993	園田恭一 ほか	有信堂
医療六法	中央法規出版 編	中央法規出版
医療の価値と価格	田倉智之	医学書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	80%
プレゼンテーション	20%

医療政策学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	保健医療政策の概要 保健医療行政の仕組み、政策決定の方法、行政機関および医療関係団体の役割等について学習する。 【事前学習課題】保健医療行政、医療関係団体	講義	邵 仁浩	講義内容の復習	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
2	医療法と関連する政策 病診連携の推進、地域医療支援病院、特定機能病院の認可要件と役割について学習する。【事前学習課題】医療機関の種類と連携	講義	邵 仁浩	講義内容の復習	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
3	医療法と関連する政策 病院・診療所における医薬品・医療機器の安全管理対策、院内感染防止対策について学習する。【事前学習課題】歯科医療機関の医療安全対策	講義	邵 仁浩	講義内容の復習	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
4	医療従事者に関連する政策 歯科医療従事者の資質向上施策、チーム医療の推進における看護業務の見直し等の動向について学習する。【事前学習課題】チーム医療と多職種連携	講義	邵 仁浩	事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
5	健康増進法等と関連する政策 国民健康づくり運動の経緯、健康日本21（第2次）および歯科口腔保健法に基づく施策の動向について学習する。【事前学習課題】健康日本21（第2次）、歯科保健目標	講義	邵 仁浩	講義内容の復習	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
6	地域保健法等と関連する政策 衛生行政の沿革、保健所・市町村保健センターにおける業務の現況、健康危機管理への対応について学習する。【事前学習課題】保健所・市町村保健センターの業務	講義	邵 仁浩	講義内容の復習	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室

医療政策学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	社会保険政策の概要 高齢化の進展に伴う医療保険制度、年金保険制度および介護保険制度のあり方に関する政策の動向を学習する。【事前学習課題】医療保険制度、介護保険制度	講義	邵 仁浩	講義内容の復習	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
8	健康保険法と関連する政策 保険診療および保険外併用療法（選定療養、評価療養）の仕組み、診療報酬の改定、高額療養費制度等について学習する。【事前学習課題】保険診療の仕組み、診療報酬制度	講義	邵 仁浩	事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
9	健康社会学の理論 健康社会学の歴史、健康社会学のコンセプト、原則、モデルを学習する。【事前学習課題】健康社会学のコンセプト	講義	邵 仁浩	事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
10	健康社会学のアプローチ 健康社会学の具体的なアプローチ方法を概説する。ヘルスプロモーションと健康教育における理論を学習する。【事前学習課題】ヘルスプロモーションと健康教育	講義	邵 仁浩	事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
11	健康社会学の研究手法 健康社会学の研究領域を学んで、その研究モデルを理解する。【事前学習課題】健康社会学の研究領域	講義	邵 仁浩	事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
12	健康・医療の社会学の系譜 疾病構造、社会的課題、医療の発展などを学習する。【事前学習課題】疾病構造の変化と医療の発展	講義	邵 仁浩	事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
13	健康社会学の対象と領域 地域住民、学校、労働者など対象別の課題とその解決方法を学習する。【事前学習課題】地域住民の健康社会学上の課題	講義	邵 仁浩	事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室

2025年度

科目コード： 222008

医療政策学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	ヘルスプロモーション 地域歯科医療分野におけるヘルスプロモーションの事例を挙げて、その課題を抽出し、その考察をする。【事前学習課題】地域歯科医療におけるヘルスプロモーション	講義	邵 仁浩	事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
15	まとめ 健康社会学における歯科医療者の役割を学習する。【事前学習課題】健康社会学における歯科医療者の役割	講義	邵 仁浩	事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室

高齢者口腔機能支援学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

授業の概要

口腔機能を通じて高齢者の生活を守り、健康寿命の延長のために必要な歯科衛生士の役割について講義する。摂食嚥下機能評価および口腔内状況の評価に基づき、理論的に口腔健康管理を実践するための方法を修得する。

学生の到達目標

- ・加齢や疾患、障害など様々な要因によって生じる口腔の機能の複合的低下している疾患(口腔機能低下症)について説明できる。
- ・口腔機能が低下した高齢者に対する医療や介護において、歯科衛生士の関わりを説明できる。
- ・口腔機能が低下した高齢者等に対して歯科衛生士が行う口腔健康管理について説明できる。
- ・口腔機能が低下した高齢者等に行う口腔健康管理に必要な介護技術や食事支援について説明できる。
- ・口腔機能の評価法について説明できる。
- ・口腔機能が低下した高齢者等に関する研究論文を精読できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
関連論文および資料を配布する。		
在宅・施設で行う口腔ケアに必要な介護技術	秋房住郎・泉繭依	永末書店

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション	社団法人日本歯科衛生士会 監修	医歯薬出版
摂食・嚥下リハビリテーション 第3版	才藤栄一・向井美恵	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

学生相談：随時e-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	超高齢社会の現状社会の中における高齢者の位置づけや高齢者福祉について学修する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams

高齢者口腔機能支援学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	医療保険制度において歯科衛生士が関わる内容について学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
3	介護保険制度において歯科衛生士が関わる内容について学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
4	口腔機能が低下した高齢者に対する口腔健康管理1 脳血管疾患の後遺症により口腔機能が低下した場合の口腔の特徴と口腔健康管理について学修し、関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
5	口腔機能が低下した高齢者に対する口腔健康管理2 認知症により口腔機能や理解力の低下が生じた場合の口腔の特徴と口腔健康管理について学修し、関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
6	口腔機能が低下した高齢者に対する口腔健康管理3 廃用症候群が進行して寝たきりとなった高齢者の口腔の特徴と口腔健康管理について学修し、関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
7	さまざまな疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、体位の確保と体位の移動について学修し、関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
8	口腔機能の診断と評価 1 嚥下内視鏡検査および嚥下造影検査について検査方法を学修し、関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams

高齢者口腔機能支援学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	口腔機能の診断と評価 2 口腔機能の診断と評価について、 口腔清掃状態の評価、舌苔の評価、 口腔乾燥の評価に関する検査方法を学修し、関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
10	口腔機能の診断と評価 3 口腔機能の診断と評価について、 咬合圧の評価、舌・口蓋運動機能の評価、 低舌圧の評価、咀嚼機能の評価に関する検査方法を学修し、 関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
11	口腔機能の診断と評価 4 口腔機能の診断と評価について、 歯科衛生士や多職種が実施できる さまざまな嚥下機能評価の検査方法を学習し、 関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
12	歯科衛生士として口腔機能低下症の患者に対する口腔健康管理を行う上で、 患者への動機づけをどのように実施するか、 関連する論文を精読して検討する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
13	歯科衛生士として口腔機能低下症の患者に対する口腔健康管理を行う上で、 生活指導や栄養指導をどのように実施するか、 関連する論文を精読し考察する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
14	歯科衛生士として口腔機能低下症の患者に対する口腔健康管理を行う上で、 維持および回復を目指す訓練をどのように実施することが望ましいか、 関連する論文を精読し考察する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams

2025年度

科目コード： 222012

高齢者口腔機能支援学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	歯科衛生士として口腔機能低下症の患者に対する口腔健康管理を行う上で、病院、施設、在宅での多職種連携について、関連論文を精読し考察する。	講義 (Teams, Moodle)	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams

専門的口腔ケア特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	船原 まどか						

授業の概要

急性期患者に対応する病院や地域保健において、口腔保健関連業務を中核的に担うための知識を修得することを目的とする。

学生の到達目標

1. 急性期における口腔機能管理の概要を説明できる
2. 急性期における口腔機能管理の目的を説明できる
3. 急性期における患者の口腔有害事象を説明できる
4. 挿管患者に対する口腔衛生管理について説明できる
5. 緩和ケアを受ける患者への口腔管理について説明できる

参考書

タイトル	著者	出版社
エビデンスに基づいた周術期口腔機能管理	梅田正博、五月女さき子	医歯薬出版
がん患者の口腔ケア	日本口腔ケア学会学術委員会	医学書院
改定版：周術期口腔機能管理の基本がわかる本	梅田正博	クインテッセンス出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ルーブリックにより評価する	100%

その他

学生相談：月～金の16:30～17:30

事前・事後学習課題および方法については学習状況により指示を行います。

2025年度

科目コード： 222013

専門的口腔ケア特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	船原 まどか						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	急性期口腔機能管理総論 ・周術期等口腔機能管理の対象患者について説明できる	講義	船原 まどか	[キーワード] 周術期とは	
2	がん患者の口腔症状と問題点 ・がん患者の口腔症状について説明できる ・がん治療の種類と口腔内有害事象について説明できる	講義	船原 まどか	[キーワード] がん治療（化学療法、放射線療法、手術）	
3	口腔がん手術と口腔管理 口腔がん以外の手術と口腔管理 ・手術前後の口腔管理、また術後の口腔有害事象について説明できる	講義	船原 まどか	[キーワード] 手術後創部感	
4	挿管患者への口腔管理 ・全身麻酔下手術予定患者に対する術前歯科治療および歯科衛生指導、口腔衛生管理について説明できる ・人工呼吸器装着患者に対し、人工呼吸器関連肺炎予防を目的とした口腔清掃方法について説明できる	講義	船原 まどか	[キーワード] VAP	
5	口腔がん放射線治療と口腔管理 ・口腔がん放射線治療時の口腔有害事象を列挙できる ・口腔がん放射線治療後の有害事象と、予防方法について患者に説明できる	講義	船原 まどか	[キーワード] 口腔がん、口腔粘膜 炎	

2025年度

科目コード： 222013

専門的口腔ケア特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	口腔がん化学療法と口腔管理 口腔がん以外の化学療法と口腔管理 ・化学療法時に起こりうる口腔内有害事象を時系列で説明できる ・化学療法時の全身的副作用を時系列で説明できる ・化学療法時の全身的副作用を考慮した口腔衛生管理について説明できる	講義	船原 まどか	[キーワード] 化学療法、抗がん剤、ナディア期	
7	臓器移植予定患者への口腔管理 ・臓器移植手術を受けるまでの流れについて説明できる ・臓器移植手術を受ける患者の口腔内に現れる有害事象について説明できる ・臓器移植手術を受ける患者の術後の注意点について、歯科衛生士として説明ができる	講義	船原 まどか	[キーワード] 臓器移植	
8	心臓血管外科手術と口腔管理 ・心臓血管外科手術前の歯科治療の必要性および歯科診療時の留意点を説明できる ・心臓血管外科手術後の口腔衛生管理の必要性および方法について説明できる	講義	船原 まどか	[キーワード] 心臓血管外科手術、IE	
9	在宅療養がん患者と口腔管理 ・在宅療養を行うがん患者の口腔症状と問題点について説明できる ・地域包括ケアにおける多職種との連携を理解する	講義	船原 まどか	[キーワード] 地域包括ケアシステム、在宅医療	

専門的口腔ケア特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	緩和ケアにおける口腔管理 ・告知の必要性について説明できる ・死の受容プロセスについて説明できる ・人生の最終段階にある人の疼痛のアセスメント及びコントロールの方法を理解し、口腔に関わる疼痛緩和のためのケアを説明できる ・死後の家族のケア（グリーフケア）について説明できる	講義	船原 まどか	[キーワード] 告知、緩和ケア、グリーフケア、死生観	
11	多職種連携 ・急性期に関わる多職種について述べるができる ・多職種と連携する中で、歯科衛生士の役割について説明できる	講義	船原 まどか	[キーワード] 呼吸サポートチーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム	
12	歯科衛生過程を用いた急性期における口腔管理計画立案（１） ・歯科衛生過程を用い、急性期における口腔管理計画を立案できる	講義、演習	船原 まどか	[キーワード] 学生のレディネスに合わせ指示する	
13	歯科衛生過程を用いた急性期における口腔管理計画立案（２） ・歯科衛生過程を用い、急性期における口腔管理計画を立案できる	講義、演習	船原 まどか	[キーワード] 学生のレディネスに合わせ指示する	
14	歯科衛生過程を用いた急性期における口腔管理計画立案（３） ・歯科衛生過程を用い、急性期における口腔管理計画を立案できる	講義、演習	船原 まどか	[キーワード] 学生のレディネスに合わせ指示する	
15	総合討論 提示された症例に対し、多職種の役割と連携を理解したディスカッションができる	講義	船原 まどか	[キーワード] 学生のレディネスに合わせ指示する	

摂食嚥下リハビリテーション学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航						

授業の概要

超高齢社会における高齢者のQOLの維持向上のために，歯科衛生士が摂食嚥下障害を理解し，その摂食嚥下リハビリテーションを実践，指導するために必要な知識や技術を習得する．

学生の到達目標

摂食嚥下障害を総括的に学修する．

参考書

タイトル	著者	出版社
摂食嚥下リハビリテーション第3版	才藤栄一ら編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
試問・単位認定試験	80%
レポート	10%
プレゼンテーション	10%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはemailで質問などは受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	リハビリテーションとは？	講義（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：リハビリテーション 事後レポートの提出	
2	摂食嚥下とは？	講義（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：摂食嚥下 事後レポートの提出	
3	摂食嚥下障害とは？	講義（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：摂食嚥下障害 事後レポートの提出	

2025年度

科目コード： 222014

摂食嚥下リハビリテーション学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	小児の摂食嚥下障害	講義（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：小児の摂食嚥下障害 事後レポートの提出	
5	高齢者の摂食嚥下障害	講義（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：高齢者の摂食嚥下障害 事後レポートの提出	
6	摂食嚥下障害の問診とスクリーニング	講義・実習（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：摂食嚥下障害の問診とスクリーニング 事後レポートの提出	
7	摂食嚥下障害に対する嚥下造影（VF）	講義（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：嚥下造影 事後レポートの提出	
8	摂食嚥下障害に対する内視鏡下嚥下機能検査（VE）	講義（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：内視鏡下嚥下機能検査 事後レポートの提出	
9	摂食嚥下障害と口腔衛生管理	講義・実習（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：口腔衛生管理 事後レポートの提出	
10	摂食嚥下障害に対する間接訓練	講義・実習（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：間接訓練 事後レポートの提出	
11	摂食嚥下障害に対する直接訓練	講義・実習（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：直接訓練 事後レポートの提出	

2025年度

科目コード： 222014

摂食嚥下リハビリテーション学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	摂食嚥下障害に応じた栄養管理と食物形態	講義・実習（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：栄養管理と食物形態 事後レポートの提出	
13	摂食嚥下障害における多職種連携	講義（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：多職種連携 事後レポートの提出	
14	症例検討	講義・実習（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：症例のまとめ 事後レポートの提出	
15	総括，試問，単位認定試験	講義・試験（遠隔により実施を含む）	藤井 航	事前学修課題：試問への準備 事後レポートの提出 最終レポートの提出	

歯科疫学・統計学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

授業の概要

口腔健康学関連の研究に必要な疫学理論、生物統計学、因果推論について基本的知識を修得し、臨床疫学、環境疫学など様々なテーマを付け加えた疫学の応用研究に対応できる能力を養う。

学生の到達目標

疫学における統計学の役割を説明できる。保健医療事象の実態を明らかにするための記述疫学的手法を説明できる。保健医療事象にかかわる要因を明らかにする分析疫学的手法を説明できる。疫学における交絡および因果関係を説明できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
医学的研究のデザイン 研究の質を高める疫学的アプローチ 第4版	スティーブン B. ハリー ほか	メディカルサイエンスインターナショナル
ロスマンの疫学	ケネス J. ロスマン	篠原出版新社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	80%
発言内容	20%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	疫学理論-疾病頻度疾病頻度について、疾病量の指標を踏まえながら学習する。	講義	邵 仁浩	疾病量の指標 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室

2025年度

科目コード： 222015

歯科疫学・統計学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3~5	疫学理論-疫学研究の種類記述疫学、分析疫学、介入疫学の目的と流れを習得する。	講義	邵 仁浩	研究デザイン 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
6, 7	疫学理論-バイアスと交絡バイアスと交絡について、研究デザインを踏まえながら制御方法を学習する。	講義	邵 仁浩	バイアス 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
8, 9	因果推論因果推論にいて、研究デザインを踏まえながら学習する。	講義	邵 仁浩	因果推論 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
10	疫学理論-研究仮説の設定研究仮説の設定について、文献検索を踏まえながら学習する。	講義	邵 仁浩	研究仮説の設定方法 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
11	口腔保健医療行政の保健医療事業評価口腔保健医療事業評価について、具体的な事例を踏まえながら評価の考え方を学習する。	講義	邵 仁浩	口腔保健医療事業評価の方法 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
12, 13	生物統計学-偶然誤差と統計の役割口腔保健医療データ解析における統計の役割を学習する。	講義	邵 仁浩	偶然誤差、系統誤差、統計学的仮説検定と推定 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室

2025年度

科目コード： 222015

歯科疫学・統計学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	生物統計学-単純な口腔保健医療データの解析 単純な口腔保健医療データを解析するのに必要な統計手法を学習する。	講義	邵 仁浩	効果指標の信頼区間 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
15	生物統計学-回帰モデルの利用 重回帰分析および多重ロジスティック回帰分析について学習する。	講義	邵 仁浩	重回帰分析、多重ロジスティック回帰分析 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室

細胞分子生物学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	佐藤 毅						

授業の概要

実験の組み立て方、ラボノートの書き方、英語論文の執筆・投稿方法を学ぶ。

学生の到達目標

実験の組み立て方、ラボノートの書き方、英語論文の執筆・投稿方法について理解する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
理系なら知っておきたいラボノートの書き方	岡崎康司	羊土社
アクセプトされる英語医学論文を書こう	ネル L. ケネディ	Medical View社
歯科衛生研究の進め方 論文の書き方	石井拓男	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ループリックにより評価する	0%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	研究倫理について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
2	研究テーマの作成について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
3	文献検索の方法について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
4	研究手法の検討と仮説の設定について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
5	研究計画の立案について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
6	倫理委審査委員会への申請方法、データの整理について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室

2025年度

科目コード： 223003

細胞分子生物学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	佐藤 毅						
担当教員	佐藤 毅						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	研究発表について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
8	ラボノートの書き方について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
9	ラボノートの管理について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
10	英語論文の構成について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
11	英語論文の書き方について学修する（前編）	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
13	英語論文の書き方について学修する（前編）英語論文の書き方について学修する（後編）	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
14	英語論文の投稿について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室
15	英語論文の査読について学修する	講義	佐藤 毅	指定教科書の予習・復習	6 1 1 講義室

栄養科学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

授業の概要

管理栄養士など多職種と連携しながら幅広い視野を持った歯科保健活動を行うために必要な栄養学関連の文献・指針等を精読する。

学生の到達目標

1. 論理的に説明できる。
2. 実験手技および調査方法についてその原理を理解・説明できる。
3. 結果の解釈を理解・説明できる。
4. 栄養科学特論の理解度を深める

テキスト

タイトル	著者	出版社
教員から供与したものおよび各自検索したものを利用する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
教員から供与したものおよび各自検索したものを利用する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～30	栄養学に関する文献・指針等を抄読し、研究の背景と文献・指針の内容、および関連分野の研究の今後の展望を学修する。	文献・指針等の抄読	辻澤 利行	文献・指針等の検索・抄読 事後レポートの提出	

高齢者口腔機能支援学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

授業の概要

加齢だけでなく、疾患や障害など様々な要因によって生じる口腔機能の低下(口腔機能低下症)を学修したうえで、口腔機能を適切に診断し維持回復するために必要な評価法を演習する。さらに口腔機能が低下した高齢者に対して歯科衛生士が行う口腔健康管理および実施の際に必要な介護技術や介護食支援について演習する。これまで明らかになっている先行論文等を精読したうえで、患者や施設高齢者に対して口腔機能評価を実践する。

学生の到達目標

- ・摂食嚥下障害や口腔機能低下症を診断する検査ができる。
- ・口腔健康管理を行う際に必要な介護技術ができる。
- ・口腔健康管理を行う際に必要な食事支援ができる。
- ・様々な疾患を持つ患者や施設入所者を想定して口腔健康管理ができる。
- ・研究調査において口腔機能評価ができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
関連論文および資料を配布する。		
在宅・施設で行う口腔ケアに必要な介護技術	秋房住郎・泉繭依	永末書店

参考書

タイトル	著者	出版社
摂食・嚥下リハビリテーション 第3版	才藤栄一・向井美恵	医歯薬出版
歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション	社団法人日本歯科衛生士会 監修	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

学生相談：随時e-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	口腔機能の診断と評価1-1 歯科衛生士や多職種が実施できる様々な嚥下機能評価について検査方法を実習する。さらに、関連する文献を精読する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams

高齢者口腔機能支援学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	口腔機能の診断と評価1-2 歯科衛生士や多職種が実施できる様々な嚥下機能評価について検査方法を実習する。さらに、関連する文献を精読する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
3	口腔機能の診断と評価2-1 口腔清掃状態の評価、舌苔の評価、口腔乾燥の評価について検査方法を実習する。さらに、関連する文献を精読する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
4	口腔機能の診断と評価2-2 口腔清掃状態の評価、舌苔の評価、口腔乾燥の評価について検査方法を実習する。さらに、関連する文献を精読する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
5	口腔機能の診断と評価3-1 咬合圧の評価、舌・口唇運動機能の評価、低舌圧の評価、咀嚼機能の評価について検査方法を実習する。さらに、関連する文献を精読する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
6	口腔機能の診断と評価3-2 咬合圧の評価、舌・口唇運動機能の評価、低舌圧の評価、咀嚼機能の評価について検査方法を実習する。さらに、関連する文献を精読する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
7	症例1-1：脳血管疾患の後遺症 歯科衛生過程を用いて、脳血管疾患の後遺症によって口腔機能の低下が生じた場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams

2025年度

科目コード： 223017

高齢者口腔機能支援学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	症例1-2：脳血管疾患の後遺症 歯科衛生過程を用いて、脳血管疾患の後遺症によって口腔機能の低下が生じた場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。シミュレータを用いて実習する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
9	症例1-3：脳血管疾患の後遺症 歯科衛生過程を用いて、脳血管疾患の後遺症によって口腔機能の低下が生じた場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。シミュレータを用いて実習する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
10	症例2-1：認知症 歯科衛生過程を用いて、認知症によって口腔機能の低下もしくは理解の低下が生じた場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
11	症例2-2：認知症 歯科衛生過程を用いて、認知症によって口腔機能の低下もしくは理解の低下が生じた場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。シミュレータを用いて実習する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
12	症例2-3：認知症 歯科衛生過程を用いて、認知症によって口腔機能の低下もしくは理解の低下が生じた場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。シミュレータを用いて実習する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams

2025年度

科目コード： 223017

高齢者口腔機能支援学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	症例3-1：廃用症候群 歯科衛生過程を用いて、廃用症候群が進行し、寝たきりとなった場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
14	症例3-2：廃用症候群 歯科衛生過程を用いて、廃用症候群が進行し、寝たきりとなった場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。シミュレータを用いて実習する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
15	症例3-3：廃用症候群 歯科衛生過程を用いて、廃用症候群が進行し、寝たきりとなった場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。シミュレータを用いて実習する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
16	体位の確保と体位の移動1 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、体位の確保と体位の移動について実践する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
17	体位の確保と体位の移動2 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、体位の確保と体位の移動について実践する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
18	体位の確保と体位の移動3 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、体位の確保と体位の移動について実践する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams

2025年度

科目コード： 223017

高齢者口腔機能支援学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
19	間接訓練1 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、間接訓練について実習する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
20	間接訓練2 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、間接訓練について実習する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
21	間接訓練3 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、間接訓練について実習する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
22	食事支援1 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、食事支援について実習する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
23	食事支援2 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、食事支援について実習する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
24	食事支援3 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、食事支援について実習する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
25	口腔機能が低下した高齢者に関する歯科衛生研究1 研究の背景と文献の内容、および関連分野の研究について学修する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
26	口腔機能が低下した高齢者に対する歯科衛生研究2 研究の背景と文献の内容、および関連分野の研究について学修する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams

2025年度

科目コード： 223017

高齢者口腔機能支援学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
27	口腔機能評価 1 これまで学習した知識や技術をもとに、患者や施設入所者に対して口腔機能評価を実施する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
28	口腔機能評価 2 これまで学習した知識や技術をもとに、患者や施設入所者に対して口腔機能評価を実施する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
29	口腔機能評価 3 これまで学習した知識や技術をもとに、患者や施設入所者に対して口腔機能評価を実施する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams
30	口腔機能評価 4 これまで学習した知識や技術をもとに、患者や施設入所者に対して口腔機能評価を実施する。	演習	泉 繭依	レポートの提出	その他 Moodle Microsoft Teams

専門的口腔ケア演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	船原 まどか						

授業の概要

急性期の口腔機能管理に必要な基礎的な知識と技術を習得する。
 本講義は本大学大学院歯学研究科口腔保健学専攻ディプロマポリシーにおける、
 ・科学的根拠に基づいた口腔保健活動を実践することができる
 ・全ての世代に対して全身の健康という視点に立った口腔保健活動ができる
 ・多職種と主体的に連携して、口腔保健活動を通じて社会貢献ができる
 能力の育成に資する。

学生の到達目標

1. 急性期における歯科衛生士の役割を説明できる
2. 口腔がん治療を受ける患者に対し口腔管理を実施できる
3. 口腔がん以外のがん治療を受ける患者に対し口腔管理を実施できる
4. がん以外の手術を受ける患者に対し口腔管理を実施できる
5. 挿管患者に対する口腔衛生管理を実施できる
6. 緩和ケアを受ける患者に対し、他職種と連携し口腔管理を実施できる
7. 急性期における歯科衛生過程を作製できる

参考書

タイトル	著者	出版社
がん患者の口腔ケア	日本口腔ケア学会学術委員会	医学書院
エビデンスに基づいた周術期口腔機能管理	梅田正博、五月女さき子	医学書院
改定版：周術期口腔機能管理の基本がわかる本	梅田正博、五月女さき子	クインテッセンス出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ループリックにより評価する	100%

その他

学生相談：月～金の16:30～17:30

事前・事後学習課題および方法については学習状況により指示を行う。

2025年度

科目コード： 223019

専門的口腔ケア演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	船原 まどか						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	急性期における歯科衛生士の役割（１） ・急性期における歯科の関わりと歯科衛生士の役割を説明できる	講義 演習	船原 まどか	[キーワード] 学生のレディネスに 合わせ指示する	
2	急性期における歯科衛生士の役割（２） ・急性期における歯科の関わりと歯科衛生士の役割を説明できる	講義 演習	船原 まどか	[キーワード] 学生のレディネスに 合わせ指示する	
3	がん患者の口腔症状と問題点 ・がん患者の口腔症状について説明できる ・がん治療の種類と口腔内有害事象について説明できる	講義 演習	船原 まどか	[keyword] Instruct students according to their readiness	
4	口腔管理の基本技術 ・急性期における口腔管理に用いる物品の使用方法・基本技術を実施できる	講義 演習	船原 まどか	[キーワード] 含嗽剤、スポンジブ ラシ、歯ブラシ、口 腔保湿剤、口腔内吸 引機	
5	口腔がん手術患者症例（１） ・症例検討および口腔衛生管理計画を作製・立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 口腔がん、手術部位 感染	
6	口腔がん手術患者症例（２） ・症例検討および口腔衛生管理計画を作製・立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 口腔がん、手術部位 感染	
7	口腔がん以外の手術患者症例 ・症例検討および口腔衛生管理計画を作製・立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 学生のレディネスに 合わせ指示する	
8	挿管患者への口腔管理計画立案（１） ・挿管患者における手術前後の問題点、口腔有害事象をふまえ、症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 経口挿管、人工呼吸 器関連肺炎	

専門的口腔ケア演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	挿管患者への口腔管理計画立案（2） ・挿管患者における手術前後の問題点、口腔有害事象をふまえ、症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 経口挿管、人工呼吸器関連肺炎	
10	口腔がん放射線治療症例（1） ・口腔がん放射線治療患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 放射線治療、口腔粘膜炎	
11	口腔がん放射線治療症例：（2） ・口腔がん放射線治療患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 放射線性顎骨壊死	
12	口腔がん化学療法症例（1） ・口腔がん化学療法患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 化学療法、抗がん剤、ナディア期	
13	口腔がん化学療法症例（2） ・口腔がん化学療法患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 口腔粘膜炎、分子標的薬	
14	薬剤関連顎骨壊死症例検討（1） ・歯科衛生士として行う薬剤関連顎骨壊死発症予防対策や、発症後の悪化予防に関わる口腔衛生管理計画を立案できる	講義 演習	船原 まどか	[キーワード] 薬剤関連顎骨壊死、骨粗鬆症、ビスホスホネート製剤	
15	薬剤関連顎骨壊死症例検討（2） ・歯科衛生士として行う薬剤関連顎骨壊死発症予防対策や、発症後の悪化予防に関わる口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 学生のレディネスに合わせ指示する	

2025年度

科目コード： 223019

専門的口腔ケア演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
16	心臓血管外科手術症例 ・心臓血管外科手術予定患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 狭心症、心筋梗塞、心臓血管外科手術、IE、歯周病	
17	在宅療養がん患者症例 ・在宅にて療養するがん患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 地域包括ケアシステム、在宅医療	
18	緩和医療・緩和ケアについて ・緩和医療および緩和ケアの基本知識について説明できる	講義 演習	船原 まどか	[キーワード] 学生のレディネスに合わせ指示する	
19	緩和ケア症例 ・緩和ケアを受ける患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原 まどか	[キーワード] 告知、緩和ケア、グリーフケア、死生観、口腔乾燥	
20	急性期における多職種連携 ・急性期における多職種連携に必要な口腔に関する情報を伝達することを目的とした連絡シートの作製ができる	演習	船原 まどか	[キーワード] 栄養サポートチーム、呼吸サポートチーム、緩和ケアチーム	

摂食嚥下リハビリテーション学セミナー

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	60	単位数	4
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航						

授業の概要

摂食嚥下リハビリテーション関連の最新の研究の動向を知るために文献を検索し，精読する．また，各自の研究内容のプレゼンテーション・ディスカッションを行い，今後の研究について展望する．

学生の到達目標

摂食嚥下障害を理解し，摂食嚥下リハビリテーションを実践，指導するために必要な知識や技術を学修する．

参考書

タイトル	著者	出版社
紹介する論文，関連文献および参考書は各自必要なものを選別する．		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	80%
レポート	20%

その他

【オフィスアワー】演習の前後、またはemailで質問などは受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～60	論文抄読 研究の背景や，関連する文献の精読とプレゼンテーションを行う．研究報告 自身の研究内容（経過，学会発表準備）に関するプレゼンテーションを行う．	論文紹介および討論研究内容の報告と討論（遠隔により実施を含む）	藤井 航	文献の精読 研究結果の整理 プレゼンテーションの準備	

歯科疫学・統計学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

授業の概要

講義では、口腔健康学関連の研究に必要な疫学理論、生物学的統計、因果推論について基本的知識と技能を修得し、臨床疫学、環境疫学など様々なテーマを付け加えた疫学の応用研究に対応できる能力を養う。演習では、事例に基づいたデータを用い、統計ソフトの取り扱いとともに疾病量の指標、記述疫学的方法論、分析疫学的方法論、因果関係の判定法等について修得する。

学生の到達目標

疫学における統計学の役割を説明できる。
保健医療事象の実態を明らかにするための記述疫学的手法を身につけ対応できる。
保健医療事象にかかわる要因を明らかにする分析疫学的手法を身につけ対応できる。
疫学における交絡および因果関係を説明できる。
統計ソフトEZRを使用し、データの解析を実践できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
医学的研究のデザイン 研究の質を高める疫学的アプローチ 第4版	スティーブン B. ハリー ほか	メディカルサイエンスインターナショナル
ロスマンの疫学	ケネス J. ロスマン	篠原出版新社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート（報告書） レポートはルーブリックを用いて評価する。	50%
プレゼンテーション	50%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはe-mailで質問などは受け付ける。

歯科疫学・統計学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	疫学理論-疾病頻度疾病量の指標について事前学習し、プレゼンテーションする。	講義・演習	邵 仁浩	疾病量の指標 事前学習レポート（プレゼンテーション資料）の提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
2,3	口腔保健医療データ解析 - 要約統計量具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながら要約統計量について学習する。	講義・演習	邵 仁浩	講義の復習	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
4	疫学理論-疫学研究の種類記述疫学、分析疫学、介入疫学の目的と流れについて事前学習し、プレゼンテーションする。	講義・演習	邵 仁浩	研究デザイン 事前学習レポート（プレゼンテーション資料）の提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
5,6	口腔保健医療データ解析 - 単変量解析具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながら単変量解析について学習する。	講義・演習	邵 仁浩	講義の復習	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
7	疫学理論-バイアスと交絡研究デザインを踏まえながらバイアスの制御方法について事前学習し、プレゼンテーションする。	講義・演習	邵 仁浩	バイアス 事前学習レポート（プレゼンテーション資料）の提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
8,9	口腔保健医療データ解析 - 多重線形回帰分析具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながら単変量線形回帰および多重線形回帰分析について学習する。	講義・演習	邵 仁浩	講義の復習	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
10	因果推論研究デザインを踏まえながら因果推論について事前学習し、プレゼンテーションする。	講義・演習	邵 仁浩	因果推論 事前学習レポート（プレゼンテーション資料）の提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室

2025年度

科目コード： 223026

歯科疫学・統計学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11, 12	口腔保健医療データ解析 - 交絡制御具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながら交絡因子の統計学的調整と交互作用について学習する。	講義・演習	邵 仁浩	講義の復習	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
13	疫学理論-研究仮説の設定文献検索を踏まえながら研究仮説の設定について事前学習し、プレゼンテーションする。	講義・演習	邵 仁浩	研究仮説の設定方法 事前学習レポート（プレゼンテーション資料）の提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
14, 15	口腔保健医療データ解析 - 相対危険具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながらオッズ比と相対危険について学習する。	講義・演習	邵 仁浩	講義の復習	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
16, 17	口腔保健医療データ解析 - 多重ロジスティック回帰分析具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながら多重ロジスティック回帰分析について学習する。	講義・演習	邵 仁浩	講義の復習	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
18, 19	口腔保健医療データ解析 - 多重Cox 比例ハザードモデル具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながら多重Cox 比例ハザードモデルについて学習する。	講義・演習	邵 仁浩	講義の復習	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
20, 21	口腔保健医療データ解析 - より複雑なモデルマルチレベル分析、傾向化スコアについて学習する。【事前学習課題】マルチレベル分析、傾向化スコア	講義	邵 仁浩	講義の復習	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室
22-29	口腔保健医療行政の保健医療事業報告書の作成具体的な口腔保健医療事業を評価し、報告書を作成する。	演習	邵 仁浩	レポート（報告書）の提出	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室

2025年度

科目コード： 223026

歯科疫学・統計学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
30	まとめ 作成した口腔保健医療事業報告書 の内容をプレゼンテーションする 。	講義・演習	邵 仁浩	事前学習レポート（ プレゼンテーション 資料）の提出	Microsoft Teams Moodle 6 1 5 講義 室

口腔科学研究(邵)

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	180	単位数	12
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

授業の概要

口腔科学研究では、歯科保健に関わる研究に必要な疫学理論、生物学的統計、因果推論について基本的知識と技能を修得するとともに、事例に基づいたデータを用い、統計ソフトの取り扱いとともに疾病量の指標、記述疫学的方法論、分析疫学的方法論、因果関係の判定法等について修得する。

学生の到達目標

1. 疫学における統計学の役割を説明できる。2. 保健医療事象の実態を明らかにするための記述疫学的手法を説明できる。3. 保健医療事象にかかわる要因を明らかにする分析疫学的手法を説明できる。4. 疫学における交絡および因果関係を説明できる。5. 学習結果をプレゼンテーションできる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は教員から供与したものおよび各自検索したものを利用する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション ルーブリックにて評価する。	50%
報告書 ルーブリックにて評価する。	50%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはe-mailで質問などは受け付ける。

2025年度

科目コード： 224003

口腔科学研究(邵)

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	180	単位数	12
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-90	・研究内容に即した文献を収集・抄読する。 ・疫学理論 1-疾病頻度、疫学研究の種類・疫学理論2-バイアスと交絡、因果推論・疫学理論3-研究仮説の設定・歯科保健データの解析方法・論文を作成する。	・講義・文献抄読・検討・作成した論文の検討	邵 仁浩	・論文検索、抄読・事前配布された資料により学習する。	Moodle Microsoft Teams 6 1 5 講義室

口腔科学研究(秋房)

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	180	単位数	12
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業の概要

高齢者の全身と口腔の健康の関連について、疫学的研究手法および統計学的手法を用いた研究の実践に関する指導を行う。また、研究成果をもとに論文を作成する。研究の進捗に応じて学会発表を行う。

学生の到達目標

- 1．高齢者の全身と口腔の健康状態との関連について、統計学的手法を用いて解明する。
- 2．研究結果をまとめ、論文にまとめ学術雑誌に投稿する。
- 3．必要に応じて学会等で研究成果を発表する。

参考書

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は教員から供与したものおよび各自検索したものを利用する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	50%
報告書	50%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～90	研究内容に即した文献を収集・抄読する。 高齢者の全身と口腔の健康の関連について、疫学的研究を行う。また、研究成果をもとに論文を作成する。	・疫学研究 ・論文抄読 ・作成した論文の検討	秋房 住郎	論文検索、抄読・実験手法の予/復習	

口腔科学研究(藤井)

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	180	単位数	12
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航						

授業の概要

摂食嚥下障害患者に対する口腔機能管理をはじめとする歯科的介入の効果に関して、基礎的研究や調査研究を行う。

学生の到達目標

1．研究内容を論理的に説明できる．2．調査方法および実験手技についてその原理と結果の解釈を理解でき、まとめることができる．3．研究を進めていく上で重要な論文が検索でき、その内容が理解できる．4．結果をまとめ、学会発表や論文を作成することができる．

テキスト

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は教員から供与したものおよび各自検索したものを利用する．		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	50%
研究成果報告書	50%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～90	・研究内容に即した文献を収集・抄読する．・研究計画を立案する．・結果を検討する．・論文を作成する．	・講義・論文抄読・実験・データ収集・解析・学会発表準備・作成した論文の検討	藤井 航	・論文検索・抄読・資料作成・発表	

口腔科学研究(船原)

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	180	単位数	12
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	船原 まどか						

授業の概要

急性期患者や高齢者に対する口腔由来の有害事象の予防を目的とした口腔管理方法の検討を行うために、課題に対して研究計画を立案し、担当教員と協議しながら主体的に研究を行い、その結果を発表する。

学生の到達目標

急性期患者や高齢者に対する口腔管理方法について、科学的根拠に基づき自らの研究結果を示すことができる。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ループリックにより評価する	100%

その他

学生相談時間：月曜～金曜の9時～17時を基本とし、随時受け付ける

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~90	・研究内容に即した文献を収集・抄読する。 ・研究計画の立案を行う ・研究遂行に必要な手技を学ぶ ・データ収集、または実験を行う ・収集した結果の分析・考察を行う ・報告書やプレゼンテーション、論文を作成する。 ・発表をする。	・講義 ・論文抄読 ・計画立案 ・データ収集 ・実験 ・作成した報告書および論文の検討	船原 まどか	・論文検索方法の事前学習 ・指定論文の事前抄読 ・実験手法の予習/復習	

口腔科学研究(泉)

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	180	単位数	12
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

授業の概要

口腔健康管理が全身の健康に与える影響について疫学的研究手法および統計学的手法を用いた研究の実践に関する指導を行う。

学生の到達目標

- 1．先行研究論文をまとめることができる。
- 2．仮説を立てることができる。
- 3．研究計画書を作成することができる。
- 4．疫学的調査研究ができる。
- 5．調査データを統計学的手法を用いて解明することができる。
- 6．研究内容を報告書にまとめることができる。
- 7．研究内容をプレゼンテーションできる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は教員から供与したものおよび各自検索したものを利用する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	50%
報告書	50%

その他

学生相談：随時、メール

口腔科学研究(泉)

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	180	単位数	12
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~90	・ 先行研究論文をまとめる。 ・ 仮説を立てる。 ・ 研究計画書を作成する。 ・ 倫理審査申請書類を作成し承認を得る。 ・ 疫学的調査研究を実施する。 ・ 調査データを統計学的手法を用いて解明する。 ・ 研究内容を報告書にまとめる。 ・ 研究内容プレゼンテーション資料を作成する。 ・ プレゼンテーションする。 ・ 必要に応じて学会等で研究成果を発表する。	・ 論文抄読、討論・研究討論・調査研究	泉 繭依	・ 論文検索、抄読 ・ 研究計画書、倫理申請書作成 ・ 研究報告	その他 Moodle Microsoft Teams

ワンヘルス概論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業の概要

ワンヘルス（One Health）とは、「人と動物の健康と環境の健全性は生態系のなかで密接につながり強く影響しあう一つのもの」と捉え、これらを一体的に守ろうという考え方で、世界的にその取組が進められている。人、動物、環境の各分野にまたがる問題の解決には、それぞれ分野の専門家をはじめ、行政、県民、企業、民間団体などが一緒にワンヘルスを推進していくことが重要である。本講義では、ワンヘルスに係る、福岡県内の大学における各分野の専門家の講義をオンデマンド形式で実施する。

学生の到達目標

- （１）ワンヘルスの多様性を理解し、諸課題の解決に必要な論理的・多角的思考を身につける。
- （２）ワンヘルス学を学際的・分野横断的な視点で捉え、ワンヘルスアプローチを実践するうえで求められる知識を醸成する。
- （３）入学時まで培ってきたワンヘルスアプローチを基盤に、ワンヘルスに関する知識・技能・態度をさらに高める。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
各講義後レポート	100%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	コースのねらい 福岡県におけるワンヘルスアプローチの事例を知ったうえで、様々な視点で、「人の健康」「動物の健康」「環境保全」の相互関係にもたらされる新たな社会について学び、今後の専門教育に活かしてもらえよう多様な授業を設定していることなどを学習する。	Moodle	秋房 住郎	事前：ワンヘルスアプローチ 事後：事後レポートの提出	Moodle
2	福岡県が推進するワンヘルス ワンヘルスの考え方や福岡県におけるワンヘルスの取組みについて学習する。	Moodle	秋房 住郎	事前：福岡県におけるワンヘルス 事後：事後レポートの提出	Moodle

ワンヘルス概論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	「開発」と「豊かさ」を考える 人口増加、食料不足、環境破壊、機構変動などの問題は「開発」と密接な関係がある。授業では、「開発」を推進することで、「豊かさ」や「幸せ」を拡大することができるのかという点について、統計データを参照しながらワンヘルスの在り方を学習する。	Moodle	秋房 住郎	事前：開発の功罪 事後：事後レポートの提出	Moodle
4	地球温暖化（環境）と動物の生理・生態との相関関係 環境問題を、地球温暖化問題を中心としながら、人を含めた動物との直接的な関係性について遺伝子レベルで多角的に学習する。	Moodle	秋房 住郎	事前：地球温暖化 事後：事後レポートの提出	Moodle
5	環境保全と生物多様性 健全な環境を保全するためには、生物の多様性を字することが不可欠である。授業では、生物多様性の種類（レベル）について説明していくなかで、なぜ生物の多様性を維持することが大切なのかについて学習する。	Moodle	秋房 住郎	事前：環境保全と生物多様性 事後：事後レポートの提出	Moodle
6	人の健康と動物・環境 人獣共通感染症の概略（疫学的分類・関連法規等）を紹介し、人と動物の健康及び環境との関連を学習する。	Moodle	秋房 住郎	事前：人獣共通感染症 事後：事後レポートの提出	Moodle
7	人獣共通寄生虫症（原虫症） ペット・家畜・野生動物等が関係する原虫症の感染経路・病態・検査・治療について、分かりやすく学習する。	Moodle	秋房 住郎	事前：人獣共通寄生虫症 事後：事後レポートの提出	Moodle
8	医科学の進歩と動物研究 感染症予防などの治療法開発のプロセス、動物研究により創出された科学技術、動物福祉のための原則と法令を通して、人と動物の共生について学習する。	Moodle	秋房 住郎	事前：動物の福祉 事後：事後レポートの提出	Moodle

ワンヘルス概論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	薬剤耐性菌による医療への影響について 医療における薬剤耐性菌により引き起こされた事象を解説し、具体的に薬剤耐性化の様々な病気の予防対策等について学習する。	Moodle	秋房 住郎	事前：薬剤耐性菌 事後：事後レポートの提出	Moodle
10	感染症治療薬の基礎と耐性菌発症メカニズム 社会的に話題となった薬剤耐性菌の話題を通じて、耐性菌発症に関する基礎知識と耐性獲得のメカニズムを分子レベルで学習する。	Moodle	秋房 住郎	事前：薬剤耐性菌 事後：事後レポートの提出	Moodle
11	感染症に対する多職種連携アプローチ バイオテクノロジーを用いたワンヘルスアプローチの事例を産学官連携の視点に立った研究を学習する。	Moodle	秋房 住郎	事前：多職種連携 事後：事後レポートの提出	Moodle
12	疫学の視点に立った食生活・栄養による疾病の予防について 国内外の疫学調査研究で示されている食生活・栄養と生活習慣病との関連性を示し、ワンヘルスアプローチの視点に立った予防方法について学習する。	Moodle	秋房 住郎	事前：食生活・栄養による疾病の予防 事後：事後レポートの提出	Moodle
13	動物に由来する感染症について 人獣共通感染症について、社会生活を送るなかでの危険性を学習する。	Moodle	秋房 住郎	事前：人獣共通感染症 事後：事後レポートの提出	Moodle
14	システム思考とデザイン思考による思考方法 ワンヘルスアプローチを遂行していくなかで求められるシステム思考とデザイン思考の統合的かつ補完的関係性について学習する。	Moodle	秋房 住郎	事前：システム思考とデザイン思考 事後：事後レポートの提出	Moodle

2025年度

科目コード： 225001

ワンヘルス概論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	ワンヘルスに関連する感染症とモニタリング・評価指標 ワンヘルスの視点から感染症(1)種類・分類、(2)発生・拡大のメカニズム、(3)予防対策ほか、感染症の監視、予防に使用される評価指標（感染率、発症率、有病率、致死率など）とそれらの解釈方法について学習する。	Moodle	秋房 住郎	事前：感染症とモニタリング・評価指標 事後：事後レポートの提出	Moodle

研究倫理学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業の概要

eAPRINをの医学研究者コースを受講して、医学研究者に求められる研究倫理を理解する。

学生の到達目標

各単元のクイズの正答率を80%以上にする。

テキスト

タイトル	著者	出版社
eAPRIN 医学研究者標準コース（ https://edu.aprin.or.jp ）		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
eAPRIN 医学研究者標準コース各単元のクイズの正答率	100%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	責任ある研究者の行為について 研究領域分野を超えて共有されている価値観に基づき、基本的な研究者の責任について学びます。	eAPRIN	秋房 住郎	単元終了時のクイズの回答	
2	研究における不正行為 「捏造・改ざん・盗用」の定義を正しく理解する。 「研究における不正行為」が及ぼす悪影響、起きる要因・背景を理解する。	eAPRIN	秋房 住郎	単元終了時のクイズの回答	
3	データの扱い データの定義、分類、および分類を理解する。 データの収集と選択、データを保管・保護・破棄、データの公表、データの共有に関して、理解する。	eAPRIN	秋房 住郎	単元終了時のクイズの回答	

研究倫理学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	共同研究のルール 共同研究の意義、円滑に進めるための体制及びその背景、契約、参画機関の義務と権利、研究成果の所有権や知的財産の権利等を理解する。	eAPRIN	秋房 住郎	単元終了時のクイズの回答	
5	利益相反 利益相反の定義、利益相反が悪影響を及ぼしうる活動の範囲を理解する。利益相反の負の影響を回避するための、利益相反管理の意義や方法について理解する。	eAPRIN	秋房 住郎	単元終了時のクイズの回答	
6	オーサiership 研究者にとってオーサiershipの意義や課題、研究者間でトラブルが生じる理由と、それを防ぐ方法を理解する。オーサiershipのルール違反であると見なされる場合を理解する。	eAPRIN	秋房 住郎	単元終了時のクイズの回答	
7	盗用と見なされる行為 盗用や不適切な引用を理解する。自己盗用と二重投稿の定義、不適切な引用を避ける必要性を理解する。	eAPRIN	秋房 住郎	単元終了時のクイズの回答	
8	ピア・レビュー ピア・レビューの基本的役割、査読における公正性に関する問題を理解する。	eAPRIN	秋房 住郎	単元終了時のクイズの回答	
9	メンタリング メンティーがメンターから受けるべき指導・助言、およびメンタリングの重要性と活用方法について理解する。	eAPRIN	秋房 住郎	単元終了時のクイズの回答	
10	公的研究費の取扱い 公的研究費の研究機関の責任と経理担当事務職員の責務を理解する。公的研究費の不正使用・不正受給について理解する。	eAPRIN	秋房 住郎	単元終了時のクイズの回答	

2025年度

科目コード： 225002

研究倫理学特論

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	生命倫理学の歴史と原則、そしてルール作りへ 人を対象とする研究の倫理に影響を及ぼした歴史的出来事を理解する。 ベルモント原則を理解する。 現代の研究者に求められている倫理基準の主旨を理解する。	eAPRIN	秋房 住郎	単元終了時のクイズの回答	
12	研究倫理審査委員会による審査 研究倫理審査委員会の目的、責務と役割、構成及び成立要件を理解する。 研究倫理審査委員会と治験審査委員会との相違を理解する。	eAPRIN	秋房 住郎	単元終了時のクイズの回答	
13	研究における個人に関わる情報の取り扱い 人を対象とした生命科学・医学系研究に携わる人々が個人情報扱う際の原則を理解する。	eAPRIN	秋房 住郎	単元終了時のクイズの回答	
14	研究におけるインフォームド・コンセント インフォームド・コンセントに関する行政指針等を理解する。 インフォームド・コンセントを簡略化ないし省略できる条件を理解する。	eAPRIN	秋房 住郎	単元終了時のクイズの回答	
15	特別な配慮を要する研究対象者 「弱い立場にある人々」の権利と自律性を構成する諸要素を理解する。	eAPRIN	秋房 住郎	単元終了時のクイズの回答	

口腔保健科学演習

開講学科	口腔保健学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	150	単位数	10
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業の概要

口腔保健学に関する話題を中心に、当該分野の最新の研究手法や動向を理解する。

学生の到達目標

- ・ 英語文献を読んで内容を理解できる。
- ・ 論文で行われている研究手法を理解できる。
- ・ 研究を批評することができる。
- ・ 研究の背景を理解できる。
- ・ 論文の内容を他の人にわかりやすく説明することができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
学術論文（PubMed、医中誌などから抽出）		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
論文の選択基準	30%
プレゼンテーション能力	40%
質疑応答	30%
	0%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-38	口腔保健学に関する話題を中心に、当該分野の最新の研究手法や動向を学修する。	論文紹介および討論	秋房 住郎	論文の抄読	